

平成 24 年度 事業報告書

岩室観光開発株式会社

1. 入館者数

大人 13,729 人 (32%)、市内在住 65 歳以上・子供 21,013 人 (48%) 障害者 8,631 人 (20%)
合計 43,373 人 対前年伸び率 95% 2,361 人減少

4 月～7 月 1,011 人増加 8 月～1 月 5,041 人減少 2～3 月 1,669 人増加

- ・22 年度まで入館者数は毎年右肩下がりで減少し続けてきたが、23 年度にようやく歯止めがかかった。23 年の 7 月からアンケートを実施し、入館者の要望に一つ一つ応え 23 年度は、3,000 千円の経費を費やして施設内の改装、改善工事等を行った結果、1,782 人の入館者増に結びついた。24 年の 4～7 月までは 107% の伸びがあり順調に推移していたが、8 月 21 日にレジオネラ菌発生の事故があり、9 月 6 日まで 17 日間の営業休止の影響により 8 月～1 月の入館者が 5,041 人の大幅減少になってしまった。

一方、常日頃の企業努力により、「よりのれがすごく綺麗になった」という口コミが広がり、1 年半～2 年ぶりに以前の常連客が戻り始め、あるいは、ホームページ、看板設置の効果により、2 月～3 月の入館者数約 1,700 人 (伸率 124%) の増加に結びついた。

2. 貸し部屋使用回数

- ・厨房 (2 階) の従業員 (正社員) が 3 名しかいないので、3 階の中広間・31.5 畳 (天神・6000 円) の利用客を 2 階の大広間 (厨房の前の部屋で大広間を分割し中広間とほぼ同じ大きさの部屋・28 畳 (5,500 円) & 17.5 畳 (3,500 円) に振り替えたため 23、24 年度の 2 階大広間分割の使用回数が大幅に増えた。

22 年度 40 回 23 年、24 年度 71 回

- ・法事の利用を積極的に勧誘したため、2 階大広間 (9000 円) の利用回数も大幅に増えた。

22 年度 18 回 23 年度 23 回 24 年度 43 回

- ・貸し部屋利用金額は対前年比 102 千円の増加であった。

3. 食堂、宴会売上

- ・食堂売上

レジオネラ菌発生事故の影響で食堂の売り上げも減少した。 対前年伸び率 90%

- ・宴会売上

23 年 12 月に「ゆめや」の元板長・上村孝栄氏 (以前テレビ番組「料理の鉄人」に出演) が厨房の応援にきてくれた。現在当館の板長は「高島屋」の元板長であり、この岩室温泉旅館の元板長二

人の作る本格的手作り料理が大評判で、24年度は宴会売上が133%も伸びた。

・売店・自販機売上

よりなれの受付の横の売店コーナーを充実した結果、伸び率147%であった。

4. 改善内容

- ・5月、新潟日報事業者発行の「月刊キャレル」に静閑荘玄関前の「バラ」と杉浦の写真が掲載された。
新潟日報事業者発行の「新潟日帰り温泉パラダイス」に「よりなれ」の記事を掲載、宣伝した。
- ・9月、念願だった当施設の「ホームページ」を開設した。
- ・11月、誘客用のチラシ第2弾を作成し、旧岩室村全戸に回覧板配布した。
今回は、「ゆめや」の元板長・上村孝栄氏と「高島屋」の元板長・岡崎清氏の顔写真を掲載し大いにアピールした。
当施設内においても、よりなれの受付と食堂、宴会の利用客に対して、一人一人にチラシを手渡しした。
- ・11月、よりなれの入口右横（食堂のすぐ下）の壁面に、縦200cm、横270cmの大看板を作成、掲示した。
看板には大きく「凄腕料理人が作る本格料理」と銘打って、食堂、宴会、法要の利用促進を喚起した。
- ・2月、県道から当施設に入るところの角に設置してあった目立たない看板が冬の強風により落ちてしまったので、新しい看板を設置した。
白地に赤と青文字で「日帰り温泉、食堂・宴会・法要」と大書きしたので、来館客から今度は目立って非常に良いとの評価を頂いている。
- ・丸小山公園の入り口（当施設に上ってくる道路の右端）に「よりなれ・静閑荘」の看板を設置した。
県道の入口から施設内まで4枚の看板を設置した。

5. 清掃並びに機械設備の維持管理状況

利用者に快適に過ごしていただく為に、よりなれの清掃は毎朝及び月2回の休館日、清掃業者に委託し実施している。日々の清掃はマニュアルに従い従業員が実施している。

6. 風呂場での転倒、のぼせ等の対応は、マニュアルに沿って実施している。

7. 総括

風呂の設備の改善、食堂の改善等利用客に目に見える改革を行ってきた。

我々が、誠心誠意努力している姿勢を示せばおのずと信頼が回復し、以前のように利用客で賑わう施設になると思う。